

HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY



ALUMNI ASSOCIATION

ほうへいかいほう

Vol.86 2021.3.15

# 豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 高田哲也 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161



## C O N T E N T S

- 2 新会員に期待する / 卒業おめでとう
- 3 2021 年度入試動向について
- 4 コロナ禍における就職活動
- 5 現役学生インタビュー
- 6 卒業生奮闘記
- 8 OB の本棚
- 10 OPEN SPACE
- 11 支部現況・連絡先
- 12 クラブ・サークル活動通信 / 事務局からのお知らせ

# 新会員に期待する

会長 森本 正夫



北海学園大学・同大学院の学生生活を終え、晴れの卒業証書・学位記を手にし、新しく社会に雄飛される皆さんに心からお慶びを申し上げます。

本日から北海学園大学同窓会の会員として新たに仲間入りしていただくことになりました。若く実行力に富む皆様をお迎えできることは本会としては何ものにも替えがたい力強さを感じるものであり、心から歓迎を申しあげます。

ご承知のように、北海学園大学は昭和25年に北海道短期大学として発足し、27年には北海道における最初の四年制の私立大学として創立されました。今日では5学部12学科、各学部には大学院（博士課程）を有する道内最大の私立総合大学として、教育・研究実績が高く評価されてきています。

同窓会の発足は1期生が誕生する昭和29年3月であります。1期生と2期生が話し合い自らの門出を祝う会を開催するために同窓会を創ったのがはじまりです。ここで改めて述べるまでもなく、同窓会は独立して存在するものではなく、常に母校北海学園大学の発展と一体となって将来を展望するとともに、会員92,000余名のひとりひとりがその重要な役割を充分にはたさなければならぬと考えています。

私立大学を取りまく環境は、近年の長引く経済不況、更に新型コロナウイルス感染症の拡大により経済不況と回復の目途が立たないコロナ禍の中にあり将来を見通せない厳しい状況にあります。

このような想像できないコロナ禍の時期に、皆様を会員として迎えることは、大変心痛なことではありますが、どうか社会人としての活躍を期するとともに、会員として母校発展のため、大いに協力をお願いし、歓迎の言葉といたします。

## 人文学部日本文学系 土井 綾花

所属ゼミ／大石和久ゼミ  
所属サークル等／フリーフォームレスジャズオーケストラ



- Q1 内容の充実した講義が多くあり、幅広い知識や教養を身につけられたことです。また、交通のアクセスが良く通学が楽でした。
- Q2 学業・塾講師のアルバイト・サークル活動の両立です。様々な人との繋がりから、価値観を広げることができました。
- Q3 IT業界でSEとして働きます。大学生活で得た学ぶ力をもとに、新しい分野でも貪欲に学び続けていきます。
- Q4 互いを支え合いながら、切磋琢磨できる存在です。仲間がいてくれたからこそ今の自分があるので、ずっと大切にしていきたいです。

## 工学部社会環境工学科 新谷 玲雄

所属ゼミ／金澤健ゼミ



- Q1 様々な分野の専門家がいらっしゃる中で、自分が将来にやりたいことは何かを熟考できたことです。
- Q2 就職活動です。スーツを着ることにすら慣れていなかった私にとって不安なことばかりでしたが後悔しないように努力しました。
- Q3 自身の夢であった橋梁の設計を行うことになりました。4年間で学んできたことを生かして日本のインフラ設備に貢献していきます。
- Q4 どんな時にも自分らしくできるとても大切な存在です。彼らがいなければ4年間を楽しく過ごせませんでした。

## 大学院文学研究科日本文学専攻修士課程 真島 毅

- Q1 学部・大学院ともに社会人特例制度により経済的な負担が少なく、私のようなシニアにも学びへの支援制度は、ありがたかった。
- Q2 良き指導者に出会い、懇切なるご指導によって、未知の学問分野に関わることができ、学ぶ厳しさと尊さを知ることが出来たこと。
- Q3 ここで学んだ学問への取り組み方を踏まえて、健康に留意しつつ、自分の研究テーマを追い求めたい。
- Q4 学ぶ場で、年齢や性別とは関係なく、共に同じ時期と空間を共有して学びあえた人たちのこと。

## 経済学部経済学科 高田 侑佳

所属ゼミ／早尻正宏ゼミ、小林淑恵ゼミ  
所属サークル等／マラソンリレー（学外での活動）



- Q1 様々な価値観を持つ人と交流できたことです。交流していくなかで自分の視野の幅も広がっていき自分の成長に繋がりました。
- Q2 資格取得とアルバイトです。資格取得では継続力が身に付き、アルバイトでは傾聴力やコミュニケーション能力、積極性が身につきました。
- Q3 札幌国税局の職員として働きます。与えられた業務は勿論のこと求められる成果以上の業務ができるよう精進していきます。
- Q4 互いに切磋琢磨することのできる貴重な存在です。出会った人には感謝と恩返しを忘れずに今後も様々なことを共有していきたいです。

## 経営学部経営学科 横山 涼

- Q1 様々な人と交流して視野が広がったことです。自分の興味がある事に挑戦する際の刺激になりました。
- Q2 自分のやりたい事を見つける事です。多様な講義や就職活動を通じ、自分の長所・短所を見つめ直すことで、進路を決断できました。
- Q3 ITエンジニアとして働きます。業務を通して日々学びながら専門スキルを高めていきたいです。
- Q4 悩んだときには互いに助け合える存在です。大学生活では仲間のおかげで何事も一人で悩まずに自信を持つことができました。

## 法学部法律学科 岩本 優介

所属ゼミ／大滝哲祐ゼミ  
所属サークル等／スカッシュラケット部



- Q1 学生数も多く、OB・OGの方々も多くいらっしゃるため、沢山の人と関わり、自分の視野を広げることができました。自己成長が出来る4年間でした。
- Q2 学業と部活動です。学業では専門的な分野に対し、前向きに励むことができました。部活動では、自己主張と協調性の難しさを感じながらも、やり遂げることが出来ました。
- Q3 4月から裁判所事務官として働きます。就職してからでも勉強する習慣を保ち、早期に書記官として働けるよう目指していきます。
- Q4 良くも悪くも自分に影響を与えてくれる存在だと思います。私は、何かあった時お互いに意見を言い合うことが出来る仲間と大学生活のなかで出会うことができました。

# 卒業おめでとう

## 卒業生の声

- Q1 学園大に入って良かったこと
- Q2 大学で頑張ったこと
- Q3 4月からは…(進路等)
- Q4 あなたにとって「仲間」とは？

2021  
年度

# 入試動向について

入試部長 岡崎 敦男

## コロナ禍の入試と広報

私たちの生活は今あらゆる面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けていますが、入試の実施方法や対外的な広報活動も今年度は例年とは大きく異なるものになりました。例えば、高校生に大学のことを知ってもらうための重要な機会であるオープンキャンパスは、例年だと、春・夏・秋にあわせて5日間実施し、のべ5,000人前後の高校生・保護者が訪れるのですが、今年度は春（6月）と夏（7月）は中止、秋（9月）はWEB上のみでの開催となりました。また、新型コロナ「第3波」のピークの頃（11月下旬）に行われた特別選抜（推薦入試、社会人入試、留学生入試など）は、すべての種別で来学を求めない形（書類審査、電話面接、オンライン面接など）で実施されました。それに対して、一般選抜（一般入試）は、例年通り札幌会場（豊平校舎）と5つの地方会場で実施されましたが、コロナ対策としてマスク着用が義務となり、また座席の間隔も広くとっていたので、やはり例年とは異なる光景だったと思います。

## 本学の志願状況

本学の志願者数は、長期的には18歳人口の変動と密接に関連して推移し、18歳人口が横ばいとなった2010年以降は志願者数もほぼ一定（約7,000人）となっていました。最近2年間は、首都圏などの大規模大学で合格者数が抑えられたことや共通テストを避ける受験生心理により志願者数が増えていたのですが、今年度はコロナ禍による家計急変の影響により共通テスト利用選抜と一般選抜で志願者数がそれぞれ18%と15%減少しました（詳細については右の表をご覧ください）。この傾向は全国的に見られるもので、受験生1人あたりの併願大学数が減ったことによるものと考えられます。これらの入試については、合格発表が2月25日に行われ、現在、入学手続きが進んでいるところです。一方で、11月に実施した特別選抜では、志願者数が前年よりも微増しました。感染拡大への懸念からより早く確実に合格を確保しようとする受験生心理が働いたのではないかと思います。

北海道の18歳人口はこれからも減少を続けます。本学が多くの高校生に関心を持ってもらえる大学であり続けるために、道内の高校生へ本学の魅力を伝えるとともに、道外での本学の知名度を上げるために、特にWEBを用いた広報（<https://rooms.hgu.jp>）を強化しようとしています。

表1 2021年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜（1期）結果

		一般選抜					
学部・学科	募集人員	志願者数				合格者数	
		2020年度	2021年度	前年比(人)	前年比(%)		
1部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	160	1,429	1,247	-182	87.3	479
	経営学科	69	567	531	-36	93.7	220
	経営情報学科	55	441	310	-131	70.3	154
	法学部(法律学科・政治学科)	130	855	680	-175	79.5	310
	日本文化学科	51	246	252	6	102.4	106
	英米文化学科	46	277	233	-44	84.1	115
	社会環境工学科	23	113	103	-10	91.2	75
	建築学科	20	158	125	-33	79.1	58
	電子情報工学科	35	182	182	0	100.0	95
	生命工学科	20	114	88	-26	77.2	59
1部計	609	4,382	3,751	-631	85.6	1,671	
2部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	42	235	273	38	116.2	156
	経営学科	50	188	153	-35	81.4	110
	法学部(法律学科・政治学科)	72	218	177	-41	81.2	293
	日本文化学科	14	65	44	-21	67.7	28
	英米文化学科	10	36	29	-7	80.6	35
2部計	188	742	676	-66	91.1	622	
合計	797	5,124	4,427	-697	86.4	2,293	

大学入学共通テスト利用選抜（1期）

		大学入学共通テスト利用選抜（1期）					
学部・学科	募集人員	志願者数				合格者数	
		2020年度	2021年度	前年比(人)	前年比(%)		
1部	経済学部(経済学科・地域経済学科)	30	336	252	-84	75.0	121
	経営学科	45	298	304	6	102.0	182
	経営情報学科	45	276	207	-69	75.0	124
	法学部(法律学科・政治学科)	30	298	200	-98	67.1	120
	日本文化学科	12	181	122	-59	67.4	84
	英米文化学科	12	260	146	-114	56.2	104
	社会環境工学科	10	116	165	49	142.2	113
	建築学科	12	150	136	-14	90.7	98
	電子情報工学科	10	208	230	22	110.6	168
	生命工学科	12	191	148	-43	77.5	113
1部計	218	2,314	1,910	-404	82.5	1,227	
2部	日本文化学科	6	47	29	-18	61.7	21
	英米文化学科	6	36	29	-7	80.6	17
2部計	12	83	58	-25	69.9	38	
合計	230	2,397	1,968	-429	82.1	1,265	
一般選抜・共通テスト利用選抜 合計		1,027	7,521	6,395	-1,126	85.0	3,558

\* 経済学部・法学部は学部単位の募集です。  
 \* 2部合格者数は第二志望合格者を含む数字です。



先だって、厚生労働省より令和2年10月1日現在の大学生の就職内定率は69.8%（前年比-7.0%）という中間報告が公表されました。令和2年度の就職の環境はコロナウイルスの影響により企業側も就活生にとっても困惑が多かったといえます。

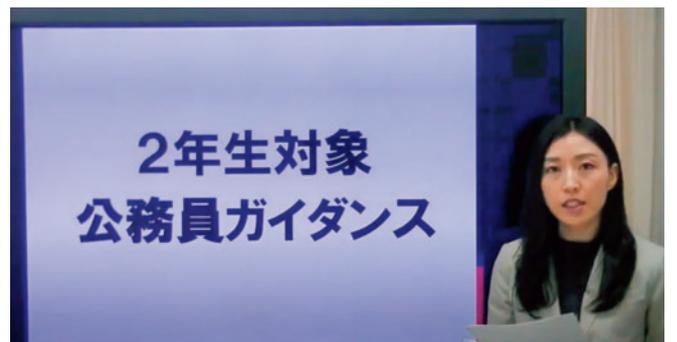
いくつかポイントを述べますと、緊急事態宣言後は、企業側の採用活動も一旦凍結ということや、学生も混乱の状態で活動をストップせざるを得ない状況もありました。また、オンラインによる就活が行われるようになりました。しかしながら、対面からオンラインへのシフトについては、企業、就活生共に Web 環境の整備、オンラインへの慣れに苦慮をした状況もあったように思います。航空業界・旅行業界をはじめとし、新規採用に踏み切ることのできない業界もありましたが、全体的には採用意欲の高い業種も多々あり、求人は豊富にありました。結論を言うと、採用活動が後ろ倒しになったという状況であり、昨年12月にも北海道内の堅実な企業からの求人は多く寄せられておりました。

キャリア支援センターでは、緊急事態宣言後の就職支援（エントリーシート添削・面接練習等）については、電話・メール・Zoom を使用して行ってきました。6月より感染防止対策を踏まえた上で対面による就職相談、また北海道内の企業との対面対応も開始しております。大勢の学生を対象にするガイダンスや講座については、動画を作成し学生に配信するなど、できる限り学生へのサービスの低下を招かないよう工夫を行っております。また、企業との接触の場（学内合同企業説明会、学内単独企業説明会）についても開催をしております。

就活生からは、友達との情報交換がなかなかできないことで、周りがどんな状況になっているかがわからずに不安になっているという話をよく聞きます。すでに2022卒の就職活動も始まっておりますが、本学就職ポータルサイトである「ミナトコム」からの情報やキャリア支援センターへのキャリア相談を利用して、就職活動を進めていただきたいと思います。



民間就職ガイダンス



公務員ガイダンス

現役学生インタビュー

アメリカンフットボール部

本間 航史さん

(経営学部経営学科4年)

北日本王座決定戦で勝利し  
関東代表校と対戦  
部に新たな歴史を刻む

2020年の1部秋季リーグ戦で優勝し、北日本王座決定戦である第33回ハレオパインボウル2020に出場し見事に優勝。関東代表校と対戦する『ホワイトボウル2020』への出場を決めたオフェンシブラインとして活躍した本間航史さんに話を伺った。

——コロナ禍での練習の工夫と成績は？

練習時間の制約をしなければならなかった中で、短時間で効果的な練習をすることに努めました。練習は清田グラウンドのため大学がシャトルバスを出してくれたので助かりました。公式試合のスケジュールは試合数の削減、対戦方法などが変更されましたが、その中でこうした成績を残すことができたのは良かったです。土日の練習では、平日に仕事をされているヘッドコーチから指導いただいています。



——関東代表校との対戦は？

慶應義塾大学と対戦し力の差を痛烈に感じましたが、今後の部の成長のためにとってもいい経験になったと思います。

——アメリカンフットボールとの出会いと今後について？

札幌東高校ではサッカー部に所属しており、アメリカンフットボールは大学に入ってから初め者からのスタートでした。新入生勧誘の時に感じた部の雰囲気の良いもあって入部しました。アメリカンフットボールはオフェンシブライン、ディフェンシブラインなどそれぞれチームの中で役割が分かれていますので、チームの特長を活かす戦術を考え、広げていくという楽しさがあつて面白いです。民間企業への就職が決まっていますが、勤務地にもよりますが、会社人になってもアメフトを続けたいと思っています。



現役学生インタビュー

ハンドボール部

坊野 泰生さん

(法学部政治学科4年)

1試合で8kmを走り  
シユートスピードは時速  
100kmを超える

1976年創部の歴史あるハンドボール部、2020年の北海道学生選手権で優勝。全道規模の大会では1979年以来41年ぶり。その大会でチームの得点源として活躍し、最優秀選手に選ばれた坊野泰生さんに話を伺った。

——昨年12月の日本選手権での成績は？

OB会が新調してくれたユニフォームで臨んだ日本選手権では、初戦、香川県の高松大と対戦、惜しくも20対45のスコアで敗れました。

——コロナ禍での練習方法は？

コロナ禍でこれまでのような練習ができないジレンマにあつて、自宅周辺の10km走を週に3日ぐらいのペースでこなして自主トレーニングに励み、チームとしては共通の試合映像を個々が観て連携プレーのイメージトレーニングをしました。



時間が削られた実戦練習ではチームを半分に分け、ゲーム形式を中心に乗り切ってきました。その点からはコロナ禍であっても恵まれた環境で部活をやつてこれたと思っています。

——ハンドボールへの思いと今後は？

ハンドボールをはじめたのは中学校の時、兄がやっていたことから興味を持ちました。札幌静修高校では北海道代表を勝ち取りました。できれば社会人になつてもハンドボールは続けていきたいと思っています。就職は新型コロナウイルスの影響が出る前に決めることができました。社会人として仕事をしつかりとこなせることが先決ですが、今後もプレーを続けていく予定です。



## 卒業生奮闘記

## コロナ禍を生きる

当時の看護部長の一言と  
先輩の後ろ姿を見て  
大学進学を決意

私が大学を目指したきっかけは、当時の看護部長（亡き大田すみ子氏）の言葉です。「これから北大の看護学校は大学に移行し10年後は大学卒業生が入職してきます。貴方達看護学校の卒業生は、大卒の看護師を指導しなければならぬ。教育指導するために大学に進学しなさい」と先見の明のある看護部長は、院内外で話されていました。すでに、先輩方は北海道大学の卒業生や夜間通学していた方もいました。大変そうに両立されていましたが自分も看護研究に取り組みたいという希望もあり、進学することを決意しました。社会人入試で小論文と面接でした。しかし、まだまだ女性の社会進出が豊かな状況ではありませんでした。

私には家族がいて、長男は小学3年生、長女は小学1年生でした。面接官の教授三名のうち一人から「そんなに勉強しなくていいのでは」「子供はどうするのですか」等、質問があったことを思い出します。家族の承諾も得ている旨、「大丈夫です」と答えたこと記憶しています。中央の席に座っていた面接官の一人（入学後に分る：小田清教授）が、終了後部屋を出る際に「本間さん、合格した暁には是非頑張ってください」と声をかけてくれました。私は即座に「はい、頑張ります。宜しくお願いします」と元気よく答え、お辞儀をして部屋を退出しました。今でも覚えていますが、「素晴らしい先生だな」とオーラを感じ大変勇気づけられました。その言葉を頂き、無事4年間で卒業し、昼間と同じ単位を取得できたと思います。

職場との両立  
— 大学時代の思い出

大学に入学した時期は、内科に配属され4年目に入る頃でした。部署の看護師長が北海道大学の卒業生でした。勤務の配慮も協力的で、平日は勤務し夜は大学、週末は深夜・準夜勤務をしていました。そうするとずっと一週間休みがないのです。半年くらい続けましたが、さすがに辛くなり、看護師長に相談しました。平日は大学から戻り病院の休憩室で仮眠し、深夜勤務に出勤するという状況でした。部署の後輩も協力的でギリギリまで寝かせてくれ、コールで起こしてくれたこともありました。大変お世話になったと感謝しております。

大学のカリキュラムである教養科目の語学では、2科目とも英語を選択しました。先輩師長から社会人の場合は、英語は難しいからフランス語を選択した方がいいのではないかとアドバイスをもらいました。「フランス語とドイツ語は、スタートが皆一緒だから単位を取得しやすいよ」と情報をくれました。しかし、私は中学・高校と英語が大好きで得意科目でした。英語の科目を2科目選択しました。英語A・Bです。実際は大変でした。仕事をしながら勉強することの大変さを痛感しました。車通勤でしたので、車の中で英語のリスニングもしていました。勉強したつもりでも暗記力が低下していたことを実感しました。あれもこれでもできないと言った状況でした。北大病院のイチョウ並木も定年間に、つくづく美しいと思う気持ちを持てたと感じました。学園生活も勤務との両立で必死に単

位を取得するために出席することとレポート提出に追われた日々だったと思います。英語の訳も内科のドクターに助けてもらったことがありました。訳し方も直訳でしたり、人によって訳し方が異なり何度かお願いしながら自分自身学習したことが印象深く残っています。内科の先生に支援して頂いたこと感謝です。必要に迫られると人は一所懸命頑張れます。また、支えてくれる人がいると励みになります。次のステップを目指すことができるのだと思います。卒業式には、夫・長男・長女・母の四人が出席してくれました。その後、写真館で卒業証書を持った私を囲んで卒業写真を撮りました。今では懐かしい思い出です。



前列左から、守田看護副部長、本間、吉田看護副部長その他スタッフ（看護師・理学療法士・歯科衛生士）「チームで頑張ってます」



社会福祉法人  
北海道社会事業協会余市病院  
看護部長

**本間 美恵 氏**  
HONMA YOSHIE

経済学部 2 部 経済学科  
42 期 1998 (平成 10) 年卒

### Profile

昭和 33 年生まれ、上川郡士別市出身 昭和 55 年 3 月北海道立衛生学院卒業、同年北海道大学医学部附属病院（現北海道大学病院）に採用され、平成 6 年上司の薦めもあり北海学園大学経済学部 2 部経済学科に入学。平成 10 年 3 月卒業。学園生活を送る傍ら 2 年後人事異動し手術部・救急部・透析室副看護師長に昇任。平成 14 年耳鼻咽喉科病棟看護師長、第二外科・循環器外科・手術部を経て平成 25 年看護部副看護部長に昇任し平成 30 年定年退職。平成 30 年 6 月より現職。平成 30 年 11 月秋の叙勲、瑞宝単光章受章。

### コロナ禍の中で 地域医療と看護管理者・ スタッフの育成奮闘記

一昨年12月に中国・武漢市で報告された原因不明の肺炎は、「COVID-19」（新型コロナウイルス感染症）と名付けられ、いまや世界中に拡散。そんな中、とうとう新年を迎える状況となりました。病院職員は必死に向き合っております。手洗い・手指消毒の感染防止の徹底「外から持ち込まない!!」「3密を避けるのではなく、1密でも感染。だから「0密の徹底!!」院内感染防止策「中で拡げない!!」食事は密を避け「黙って食べる」「おやつは複数でつままない!!」話すときには、「必ずマスク」「大きな声を出さない」環境は「換気をまめにする」「環境清拭」「長時間複数の人といる時間を減らす」「濃厚接触者にならない」「お互いマスク着用」そんな言葉を合言葉に行動化することが重要です。私は大丈夫ということはないのです。新型コロナ

ウイルスは、あつという間に身近に迫ってきました。他人ごとではありません。一人一人が感染リスクを防ぐことで終息を迎えます。

看護師長をはじめ、看護職員には常に感染防止に気を緩ませないようにと声かけをおこなっています。どこから入ってくるか持ち込むかわかりません。皆で力を合わせ日常から感染対策会議を開催しチーム一丸となっております。時々、憂鬱になりますが、トップは明るく元気がモットーです。その中でも「できることはする」が大事です。ストレス社会ですがストレスをためず、日々元気に暮らせるよう患者看護に力を注ぎたいと思います。

### ◆感染リスクが高まる環境「5つの場面」

- ① 飲酒を伴う懇親会等
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり（休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている）に注意

【出典：内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室】

### 〈家の外に出る場合〉

- ① マスクをする
- ② 人の手が触れる部分をなるべく触らない
- ③ 熱・咳のある人とは1メートル以上離れる（ソーシャルディスタンス）
- ④ 鼻や目の周りを触りたくなったら手をきれいにしてから触る
- ⑤ 買い物など用事が済めばさっさと帰る

### 〈マスクについて気を付けること〉

- ① 鼻の周りの隙間をつくらないようにする
- ② ワイヤーが入っているので、必ずフィットするように押付ける
- ③ あごの下までしっかりと伸ばして装着すること
- ④ マスクの隙間を作らない
- ⑤ 顔の大きさに合わせたマスクを着用すること

### 〈特に気を付けること〉

- ① エレベーターの階数の押しボタン
- ② ドアノブ
- ③ パソコンのキーボード
- ④ エスカレーター・柵等

人々が複数以上で触れる所は、必ず手指消毒を心がけましょう。  
\* 指の腹はウイルスが付きやすい部位です。グーチョキパーのグーで（中指の関節部）で触る方が安全です。  
以上、新型コロナウイルス感染予防対策でした。



厚生労働省から頂いた予防衣です  
「コロナに負けず頑張ってます」



Hokkai-Gakuen OB

# OBの本棚

弁護士

## 高田英明氏

法学部1部政治学科  
4期2006(平成18)年卒

—プロフィール—

1982年札幌市生まれ。北海学園大学法学部卒業後、2014年同大学法科大学院修了。2014年司法試験合格。弁護士。高田英明法律事務所代表。2016年から現職。



——在学時の思い出や、弁護士になられた経緯をお話しいただけますか

幼い頃から勉強が苦手という訳ではなかったのですが、勉強よりはスポーツの方が得意でした。サッカーやバスケット、大学時代はゴルフ部に所属して、大学生までは勉強よりもスポーツに励んでいました。大学時代は、日中にゴルフ場に毎日のように行っていましたので、あまり学校にも行けなかったです(笑)。

大学卒業後の進路をどうしようかと考えていた頃、ちょうど北海学園大学にロースクールができました。大学でも法律を学んでいたことに加え、公務員や民間企業にも惹かれなくて、普通の就職ではやりたいことが見つからなかったため、自分でできる仕事が見たいと考え、進学して弁護士になるうと思いました。

その後は、ロースクールで学んで、先生方のご尽力のおかげで、晴れて司法試験に

合格し、弁護士になりました。司法試験に受からないと弁護士にはなれないので、もちろん受かりたいという気持ちもありましたが、ロースクールで実務家教員の先生方からは、受かってからは仕事が忙しくて、好きなことができないのも今のうちという話を聞いていましたので、司法試験もすぐに受かりたいというよりは、そのうち受かれば良いなと考えていました。なるべくゆつくり学生生活を過ごして、弁護士になれたらいいなという、今思うと甘い考えだったと思います。

司法修習終了後は、いわゆる「即独」という、どこの事務所でも修業せずにすぐに一人で弁護士事務所を開くという道を選びました。一般的にはどこの弁護士事務所にも所属して、3年くらい働いてから独立というのが普通なのですが、当時は就職難というのもありましたが、元々自分でできる仕事が見たいと思い、弁護士を志望しましたので、弁護士登録と同時に自分の事務所を開きました。自分でできる仕事というところで弁護士を志望しましたが、弁護士という仕事に絶対にしがみつきたいという気持ちもありませんでしたので、自分で精一杯やってみてうまくいかなかったら、他の仕事をしても生きてはいけるだろうという気持ちにはありました。要は自分でやりたいようにやるという気持ちの方が強かったと思います。

そして、弁護士事務所を開く少し前に、



ロースクール時代に教えてもらっていた労働法の浅野先生(弁護士 現北海学園大学教授)から、ゴルフに誘われた時、「あれ、高田くん、そう言えば就職どうするの?」と聞かれて、「二人でやりませう」と言ったら、すごいびっくりなさって、「それなら面倒見をあげるから、事務所に入るのが嫌だったら、とりあえず、私の近くにおいで。そうしたら何かあったら助けてあげられる。こっちもいろいろ頼みたいから」

と僕の気持ちも尊重して言うてくださったんです。新人に頼みたいことなんてないとは思いますが、心配して、面倒を見てくださって、それで何とか一人でもやってこられたという感じですね。そのように助けてくださった先生方のおかげで、今は、私も含めて弁護士三人と司法書士一人がいる事務所になっています。

——影響を受けた本を三冊ご紹介いただけますか

本を読むと自分も頑張ろうという気持ちになれますね。特に成長物が好きで、結局、自分は楽しいから良く本を読むのですが、自分が体験できないことを本の中で疑似体験して、人生が豊かになったり、考え方が変わっていくところが本を読む魅力なのかと思います。生き方の選択肢が増えるということですかね。

### 「死刑囚の手記」

(免田榮著、イースト・プレス)

信頼していた価値観が  
根底から覆った一作

中学生の終わり頃に読みました。両親が読書家で、実家に本がいっぱいありました。当時の年齢では「死刑囚」という言葉が、すごくインパクトがあつて、何気なく手に取ったのが読んだきっかけだったと思います。

今は、法律を勉強しているので、逮捕されたからと言って、有罪と決まっている訳ではないと分かっていますが、当時は、警察のやることは間違いない、逮捕されたら全て有罪だろうという認識を持っていました。でも、この本を読んで、こんなことがあるのかと、警察や捜査機関(＝刑事司法)に対して、何も疑っていなかったものが崩れました。法律に興味湧いたきっかけとなつた本だと思います。

今、振り返ると、この本との出会いが、法学部を選んだきっかけになったのではないかと思います。だからと言って、当時は、絶対に、法律を学びたい、仕事にしたいというほどではなかったです(笑)。

### 「深夜特急」

(全6巻、沢木耕太郎著、新潮文庫)

人生にはいろいろな  
可能性があると教えてくれた

札幌清田高校在学中に読んだのが、この本です。その頃には文庫版が全て出ていま

した。筆者の沢木耕太郎さんが香港からヨーロッパのロンドンまでバスに乗って放浪する内容で、僕も衝動的に、同じようなことをやってみたいという気持ちが出ましたが、当時は若干潔癖な傾向がありました。結局、香港や東南アジアへの一人旅は、僕にとつてはリスクもあるし、ハードルが高くて、行くことはなかったです。この本が一番影響を受けたのは、人の生き方はいろいろな選択肢があるのだと気づかされたことです。沢木さん自身もいい大学を卒業して、一般的に良いといわれる会社に就職もできたと思うのですが、自分の好きなように生きて、今では有名な作家として活躍されていて表現が適切かは分からないですが、こんな破天荒な生活を送つても生きていけるのだと思わせてくれた本です。人には、画一的な将来の可能性だけではなくて、いろいろな可能性があるのであります。

あの頃は、明確に意識をしていた訳ではなかったのですが、この本を読んでいたら、大学を卒業後、みんなと一緒に同じように就職をするという選択肢を選ばずに、リスクがあつてもロースクールに行つて、自分で法律事務所を開くことができたのではないかと考えています。



### 「赤と黒」

(上下巻、スタンダール著、桑原武夫、生島遼一訳、岩波文庫)

主人公の生き方に感銘

大学に入学する直前に読みました。この本は、ナポレオンの時代が終わつたフランスを舞台に、立身出世の強い野心に燃える少年、主人公ジュリアン・ソレルの生涯を描いた物語なのですが、彼は、いろいろな環境の中で生き、最後は死刑になります。僕は、ジュリアン・ソレルのように野心家ではないのですが、自分の力でどうにかしようとする彼の生き方には感銘を受けました。何かこう、誰に束縛されることもなく、やりたいことを野心を持って生きていくということも一人の人生としてあり得るのだなど感じました。

最後に若い世代に向けてのエールを  
お願いします

最近の学園生は本当に真面目だなと思  
います。僕みたいにゴルフばかりしていたと

いう人はいなくて、1年生の時から公務員試験の勉強をしていたり、資格を取つたりしているという印象です。ただ、優等生だなどと思う反面、学生に将来の志望を聞いてみますと、特にやりたいことはなくて公務員になりたいとか、大企業に勤めたいとかいう答えが返ってくる人が多いので、もう少し自分のやりたいことを考えてもいいのではないかと個人的には思つてしまっています。

日本では難しいと言われている司法試験を僕でも通つたので、みんなもやる気になりさえすれば、何でもできると思っています。ただ、そうは言っても、生活の安定を考

えて、やりたいことをあきらめたり、自分には到底無理だろうとて思う人たちが結構多いかなとも思います。リスクもあるので、絶対にやれとは言えませんが、何か自分には無理だとか、そういう思いだけで安易に自分のやりたいことを諦めないでほしいなと思います。学園生くらいの能力があれば、努力さえすれば、だいたいは何でもできるのではないかなとも思います。

ちょっと偉そうに聞こえてしまうかもしれませんが、特に在学中の学生には、何も考えずに安定だけを求めるといふよりは、自分のやりたいことを少しでも考えて、リスクを踏まえたいと、チャレンジする。安易に自分には無理だと諦めないで頑張つてほしいなと思います。

コロナ禍で将来に対する不安も大きいとは思いますが、自覚的に選択して、選択肢を出したうえで、これだと決めたら、決めたことをやって、うまくいかなかったら諦めて、次の道に進む。結局は、自分のやることを考えて、それをやって、前向きに生きていくしかないのではないかなと思います。僕も、そのようにして生きているつもりです。

# OPEN SPACE

オープンスペース

## 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援について

新型コロナウイルス感染症拡大によって経済的に就学が困難になった学生への支援要請が安酸学長よりありました。同窓会で検討の結果、今年度に限り特別奨学金として支援することを決定し、大学から提案された支援対象者名簿に基づき令和2（2020）年11月10日（火）、6万円を82名に、総額492万円を給付いたしました。

また、同窓会支部北社会（土木工学科・社会環境工学科卒業生）より社会環境工学科の学生に総額200万円の支援がありました。

## 令和2（2020）年度 北海学園大学同窓会第1種奨学金の給付

平成27（2014）年より継続支給している北海学園大学同窓会第1種奨学金が令和2（2020）年10月12日（月）、19名の奨学生に給付（年額12万円）が開始されました。なお、コロナ禍で認定証授与式は中止といたしました。

### 第1種奨学金給付学生（19名）

経済学部1部経済学科	2年	原田 和弥
経済学部1部地域経済学科	3年	伊嶋 柚稀
経済学部2部経済学科	2年	西村 勇輝
経済学部2部地域経済学科	2年	佐々木 凜
経営学部1部経営学科	3年	一戸 亮汰
経営学部1部経営情報学科	3年	斎藤 志帆
経営学部2部経営学科	2年	首藤 夏葵
法学部1部法律学科	4年	矢田 実久
法学部1部政治学科	4年	磯山 貴一
法学部2部法律学科	4年	栗田 恵太

法学部2部政治学科	3年	石神 貴騎
人文学部1部日本文化学科	4年	松橋 碧
人文学部1部英米文化学科	4年	越前 梨
人文学部2部日本文化学科	4年	八巻 栞
人文学部2部英米文化学科	4年	齊藤 しほ
工学部社会環境工学科	2年	小林 航大
工学部建築学科	2年	紅谷 優
工学部電子情報工学科	3年	本吉 和希
工学部生命工学科	3年	平田 大賀

## 工学部生命工学科 「令和2（2020）年度 学園オリジナルワイン」が完成

工学部生命工学科では八剣山ワイナリー（亀和田俊一社長・札幌市南区）と連携し、小山芳一教授が中心となってワインプロジェクトを進めてまいりました。

プロジェクト3年目となる今年度は、昨年赤ワインにのみ使用した学園オリジナル酵母 HGU-140 を、赤ワインとスパークリングワインの両方に使用。この HGU-140 は生命工学科新沼協研究室の卒業研究の成果で、「テロワール（土地の個性）」を重視したワインづくりを目指し八剣山ワイナリーのブドウ畑から単離・選抜した、ワイン醸造に好適のオリジナル酵母です。

より一層オリジナリティを持ったこの「学園オリジナルワイン」を多くの皆さまにお楽しみいただければと思います。



選抜したオリジナル酵母を投入する生命工学科高林さん（2019年度卒業）



赤ワイン 2,200円（税込）  
スパークリングワイン 2,420円（税込）

八剣山ワイナリー他下記店舗にて販売中です。

### 八剣山ワイナリー

〒061-2275  
札幌市南区砥山 194-1  
TEL / 011-596-3981

### ワインショップフジキ

〒060-0063  
札幌市中央区南3条西3丁目1-2  
TEL / 011-231-1684

### マルヨ吉田商店

〒060-0821  
札幌市中央区北1条西24丁目 ミニまるいちば  
TEL / 011-641-4345

# クラブ・サークル活動通信

## 卒業生、サークルOB・OGの皆さん、 応援よろしくお祈いします！

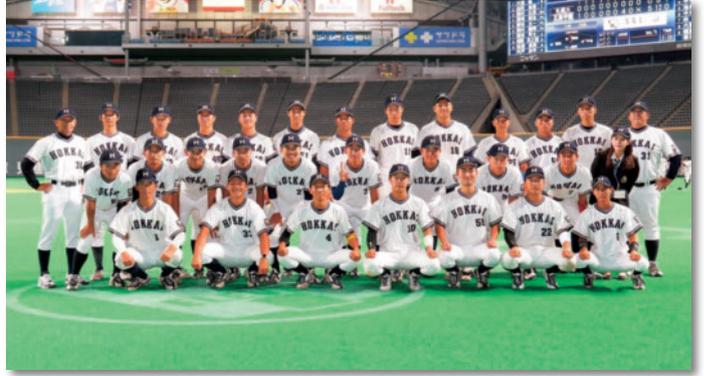
### 【硬式野球部】 主将 鈴木 大和 経済学部経済学科 3年

硬式野球部は現在選手48名、学生コーチ1名、マネージャー2名で活動しています。札幌六大学野球連盟1部リーグに所属し、春・秋の神宮大会出場を目指し、週6回毎日清田グラウンドで、冬の間は室内練習場がないため、地域や高校の練習場を借りて練習しています。

昨年の秋季リーグ戦では、リーグ準優勝という結果に終わり、神宮大会出場まであと一歩というところで4年生が引退しました。

現在は4年生が残してくれた結果と悔しい気持ちを胸に新チームで活動しています。昨年からコロナウイルスの影響で大会が中止になったり、少人数で分散して練習したりと、思うような活動ができずにいますが、皆で野球ができることの有難さを改めて感じながら日々練習に励んでいます。また保護者の方、OB会の方など沢山の方に応援して頂いていることも改めて実感しています。

チームとして結果を残すだけでなく、人として成長できるチームになれるよう日々精進して参りますので、今後とも応援の程宜しくお祈い致します。リーグ戦が円山球場で行われる際にも応援しに来て頂けると光栄です。



### 【茶道研究会】 会長 高野 風音 人文学部日本文化学科 2年



茶道研究会は現在4年生6名、3年生8名、2年生11名、1年生9名の計34名で活動しています。現在は、新型コロナウイルスの影響で2週間に1回岡部先生を招いて稽古を行なっています。また、今年は出来ませんでしたが、初冬のお茶会、留学生会館でのお茶会、初夏のお茶会、夏合宿、十月祭のお茶会を開催しています。

和室の換気環境により、1年生は冬まで和室で稽古をすることができませんでしたが、しかし、教室で立礼式の稽古を行い、1～3年生がいつもとは違うお点前を身に付けることができ、珍しい経験ができました。限られた環境の中ですが、これからも日々の稽古で茶道の心である和敬清寂を学んでいきます。

今後いつお茶会を開催できるか、また、稽古の頻度を増やせるか目処は立っていませんが、これからも部員全員で茶道研究会を引き継いでいけるよう頑張ります。OB、OGの皆様の声援が大きな支えとなりますので、これからもご声援のほどよろしくお祈い致します。

## 事務局からのお知らせ

### ◆支部長交替

- 静内支部 令和2年4月23日付 (評議員兼務)  
増本 裕治 氏 ⇒ 田代 芳嗣 氏(昭和49年経済学部卒業)
- 札幌市役所支部 令和2年9月25日付 (評議員兼務)  
鈴木 和弥 氏 ⇒ 加藤 修 氏 (平成元年経済学部卒業)
- 岩見沢市役所支部 令和2年10月7日付 (評議員兼務)  
木下 直人 氏 ⇒ 相河 学 氏(昭和63年経済学部卒業)

### ◆町長選挙

- 上富良野町長 令和2年11月29日 1期目  
斉藤 繁 氏 (平成3年法学部卒業)

### ◆訃報

- 布施 正 氏  
昭和31年経済学部卒業  
小樽支部初代支部長(昭和63年～平成16年)  
小樽支部顧問(平成16年～令和2年)  
令和2年10月12日逝去 (87歳)  
謹んでご冥福をお祈い申し上げます。



多岐アートの Vol.6

パリ街角のCustom Bike  
～2021 brushup  
米田 由美子 作  
プロフィール: 経済学部経済学科 平成2年卒業

## 住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」(無料)または、ホームページ (<https://www.hgu-dousoukai.org/address/>)、FAX (011-816-1001) にて、同窓会事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。個人情報同窓会活動以外には使用いたしません。

## 北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40  
TEL: 011-841-1161(内線1148・1168) FAX: 011-816-1001  
E-Mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp  
ホームページ: <http://www.hgu-dousoukai.org/>